



# コロナ禍の中で 厳しい経営の中で 温泉旅館での会議は必要か？

**現情勢下における健全な企業活動に関する緊急申し入れに寄せられた様々な声！**

新潟地本は11月20日、申34号「現情勢下における健全な企業活動に関する緊急申し入れ」を提出しました。

会社施設での日帰り会議を温泉旅館での1泊2日の会議に変更した支社側の認識を質す申し入れに関して、会社の姿勢に対して職場の組合員からは多くの意見が寄せられています。

### コロナ禍における会議のあり方への疑問

- 会社施設という社員だけで会議を行える環境を、不特定多数の人が利用する会場に変更して接触の機会を増やすことが理解できない
- 3時間で終われる会議をわざわざ泊まりにする危険性を理解しているのか？

### 赤字決算に対してコストダウンを指示している側としての姿勢に疑問

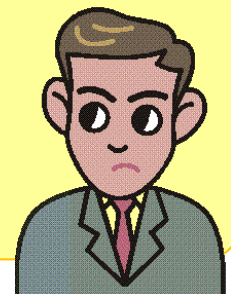
- もともと会社施設で費用をかけずに開催できたのに、費用を会社負担で温泉旅館での会議に変更したことが理解できない。職場でのコストダウンとは何なのか。
- 社員には職場でのコスト削減を強いておいて幹部は温泉で泊まりの会議。真面目に取り組んでいる社員からすれば理解できない。

### 公共性が高いはずの企業としての姿勢に疑問

- 決算や終電繰り上げ、自動運転などJR東日本が注目されている中でどのように考えているのか？「公共性が高い」とは会社側が言ってきたことだ。
- 世間から見れば「温泉＝遊び」。万が一感染があれば信用は失墜する。感染拡大のニュースが連日報じられている中でどのような認識なのか？

### 職場の現実と社員のモチベーションへの影響

- 設備職場は予算が削られながらも苦勞して安全運行を維持している中で現場長が温泉で会議。これでモチベーションを高めろと言うのは酷だ。



赤字決算を大きな理由として、2020年度年末手当は昨年より約1ヶ月低い回答が示されましたが、温泉で会議が出来るのならボーナスももっと支払えるはずだ、という憤りの声も聞かれます。東日本ユニオンが要求した3.0ヶ月分を支払う体力はあると経営側も言っており、東日本ユニオンは0.8ヶ月分の追加を求めて申し入れを行っています。

**JR東日本の発展のためチェック機能を果たしていきます！  
東日本ユニオンに結集してともに声をあげよう！**